

秩父市避難行動

要支援者名簿を作成します

市では、秩父市地域防災計画の下、避難行動要支援者名簿を作成しています。災害時における安否確認や避難支援などの必要な支援を受けられるように、対象となる方には、7月中旬頃に郵送で通知させていただきます。なお、既に同意書を提出していただいた方にはお送りいたしません。

避難行動要支援者名簿とは

避難行動要支援者（災害時に自ら避難することが困難であり、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を要する方）と認められた方の名簿を作成しています。

対象者

- 次に該当する在宅で生活されている方が対象となります。
- ①身体障害者手帳1級または2級の所持する方（ただし、障害の部位が肢体不自由・視覚障害・聴覚障害に限ります。）
 - ②療育手帳A・Aを所持する方
 - ③精神保健福祉手帳1級を所持する方
 - ④要介護認定3～5を受けている方
 - ⑤前号に掲げるものに準ずる状態にある難病患者

⑥その他避難支援などを希望し、市長が支援の必要を認められた方

※①～⑤の名簿対象者に該当しない場合でも、避難支援などを希望し、「秩父市避難行動要支援者名簿」への登録を申請すれば、避難支援等関係者へ情報提供を行います。また、名簿情報は、原則1年に1度更新します。

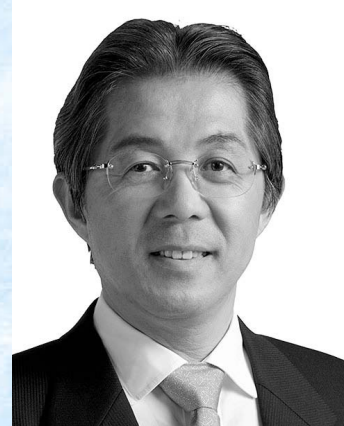
避難支援等関係者

市で作成する避難行動要支援者名簿の提供を受け、避難支援などの実施に携わる関係者のことを指します。秩父市地域防災計画では、次の方々を避難支援等関係者としています。

秩父消防署、秩父市消防団、秩父警察署、小鹿野警察署、民生委員・児童委員、秩父市社会福祉協議会、自主防災組織（町会）
問 社会福祉課 ☎2515204



市長コラム



市長として

初めての市議会

秩父市長 北城 篤

秩父市議会6月定例会を招集し、市長として初めての本会議に出席しました。

今月の市長コラムでは、多くの市民の皆さんにも私の市政に対する基本姿勢と所信を知っていただきたいとの思いから、その概要を紹介させていただきます。

秩父市は少子高齢化・人口減の進行、さらにコロナ禍によって、市民生活は多大な影響を受けており、ワクチン接種事業をはじめとして、必要な生活支援事業等も検討する必要があります。

しかしながら、事業を実施するための予算については、市税の大幅な減収が予想され、厳しい状況です。私は、「市政は未来のため

にある」、との思いから、未来を担う子どもたちのためにも、10年・20年先を見据え、次世代にまで負担を強いることのないように、行政経営を変革していくことが不可欠であると考えています。現状の把握・分析を進める中で、徹底して無駄を省き、職員とともに考え、知恵を出すことで、必ず行財政改革を実行します。

また、できる限り市民の皆さんに分かりやすく公正透明な市政を心掛け、「財政健全化」、「地域医療の充実」、「公共施設の有効利用」、「子育て支援・高齢者支援」、「企業誘致と経済の活性化」などの公約実現のため、限りある予算を効果的に使うことで、未来に対する責任を果たします。

私は、市が抱える諸課題に迅速かつ的確に対応しながら、市民の生活を築いていくような、そして、子どもたちが希望を持てるような魅力的な秩父市を創造するため、強い決意を持って取り組みます。どうぞ市政にご関心をお寄せいただきたいと思っております。

また、新型コロナウイルスワクチン接種では、コールセンター・LINE共に、予約が取りづらいう状況にありましたが、年齢を区切って予約を受け付けるなどの改善を行ったことで順調にワクチン接種は行われていますので、引き続きご協力をお願いいたします。